

# 令和3年度 九州ブロック地域福祉研究会議

〔佐賀大会：オンライン開催〕

## 開催要綱

### 1 テーマ

#### 「地域共生社会の実現への果敢な挑戦」

～人と人、人と地域をつなぐ地域福祉の実践を考える～

### 2 趣旨

近年、急速に進む少子高齢化や人口減少、核家族化の進行や地縁等の共同体機能の脆弱化等の社会構造の変化等により、地域住民が抱える課題は多様化、複雑化、複合化してきています。

このような中、国においては、「支える側」「支えられる側」という従来の関係や対象者別の制度・施策の枠を超え、人と人、人と地域がつながり、住民誰もが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けて、「断らない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を含んだ「重層的支援体制整備事業」が新たに創設される等、包括的な支援体制の整備や多種多様な関係機関等の参加・協働による支援の仕組みの構築等が推進されています。

この地域共生社会の実現に向けた仕組みづくりは、これまで社会福祉協議会が長年にわたってそれぞれの地域で取り組んできたことと軌を一にするものであり、私たちには、今後も、住民主体を旨とした地域福祉の中核的な組織として、地域の中でその役割を最大限に発揮しながら、多種多様な関係者と連携・協働した地域福祉の実践に果敢に挑戦していくことが求められています。

本研究会議は、九州各県の社会福祉協議会及び行政機関や関係団体等の関係者が、「地域共生社会の実現への果敢な挑戦」をテーマに、地域福祉を取り巻く現状と課題を正しく認識し、今後取り組むべき活動や求められる役割等について学ぶことによって、地域福祉の推進を図ることを目的に開催します。

### 3 主催

九州社会福祉協議会連合会  
九州社会福祉協議会連合会地域福祉委員会  
社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会

### 4 共催

日本地域福祉学会九州・沖縄部会  
佐賀県市町社会福祉協議会職員連絡協議会

### 5 期日

令和3年9月9日（木）・10日（金）

### 6 開催方法

オンライン（YouTube、Zoomを使用）

## 7 参加対象者

- (1) 市区町村社会福祉協議会の役員及び職員
- (2) 九州各県・指定都市社会福祉協議会の役員及び職員
- (3) 日本地域福祉学会の会員
- (4) 関係行政機関の職員
- (5) 民生委員・ボランティア・NPO 法人等地域づくりを推進する関係者
- (6) 福祉に関心のある学生等

## 8 参加人員予定

400 名

## 9 日 程

【大会前日：9月8日(水)】

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
<b>運営委員会</b>				
第1 分科会	第2 分科会	第3 分科会	第4 分科会	
<b>Zoom</b>				

【大会1日目：9月9日(木)】

10:00	10:20	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
式典	基調報告	施策の 動向	休憩	第1分科会 第2分科会			
<b>YouTube</b>				<b>Zoom</b>			

【大会2日目：9月10日(金)】

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:30	15:00
第3分科会 第4分科会			休憩	記念講演	閉会	
<b>Zoom</b>				<b>YouTube</b>		

(1) 大会1日目／9月9日 (木)

ア 開会式典

イ 基調報告

「地域福祉の推進と社会福祉協議会の役割」(仮)

全国社会福祉協議会 地域福祉部長

全国ボランティア・市民活動振興センター所長 高橋 良太 氏

ウ 施策の動向

「地域福祉をめぐる制度・施策の動向」(仮)

厚生労働省 社会・援護局地域福祉課(予定)

## エ 分科会

### ○第1分科会

「地域共生社会の実現を目指したコミュニティソーシャルワークの実践」

### ○第2分科会

「地域における社会福祉法人連携の中核としての社協活動の実践」

## (2) 大会2日目／9月10日（金）

## ア 分科会

### ○第3分科会

「“学校”・“地域”・“家庭”がつながる福祉教育の実践」

### ○第4分科会

「社協が担う権利擁護支援の実践」

## イ 記念講演

「アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチ  
～社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立に向けて～」

講師：認定特定非営利活動法人

スチューデント・サポート・フェイス

代表理事 谷口 仁史 氏

## ウ 閉会

10 参加費 一人1,000円（税込）（学生は500円）

## 11 参加申込み方法

(1) 下記フォームからお申し込みください。

〔申込 URL〕 <https://forms.gle/ChYBSud7hMG6REoa7>

- ◆複数名参加の場合も、一度にお申し込みできます。
- ◆申し込み手続き完了後、参加者氏名やメールアドレス等の変更（修正）がある場合は、大会事務局までご連絡ください。
- ◆9月3日（金）までに、当日資料ダウンロードサイトの URL と大会参加に係る URL・ID・パスワード等を申込時に指定されたメールアドレスに送信します。
- ◆開催前に接続テストを行います。  
詳細については申込時に指定されたメールアドレスに送信します。

(2) 分科会は、一人あたり一分科会の参加となります。分科会の申込みについては、定員の都合上、希望に添えない場合があります。大会事務局で調整させていただきますことをございますので、予めご了承ください。

(3) 参加費は、後日、本会から各参加団体等へ請求書を送付しますので、その内容に基づき、指定の口座へお振込みください。  
なお、申込後の参加取り消しによる参加費の返金はできません。

## 12 申込み締切

令和3年8月20日（金）17時（定員になり次第締め切ります）

### 13 参加にあたっての注意事項

- (1) オンライン開催となりますので、YouTube 視聴、Zoom が使用できる環境 (カメラ・マイク・スピーカー等)のご準備をお願いします。
- (2) 特に、Zoom 使用にあたっては、事前に下記の準備・確認等をお願いします。
  - ◆必要な方は、次の URL から Zoom を最新バージョンにアップデートしてください。  
<https://zoom.us/download>
  - ◆パソコンからの参加が初めての方は、次の URL からカメラ・マイク・スピーカーのテストを行ってください。  
<https://zoom.us/test> (Zoom テストミーティング)  
※詳しいやり方は、下記をご覧ください。  
<https://it-counselor.net/zoom-test-pc> (Zoom の接続テストを参加前に実施する)
  - ※万一つながらない場合は、下記をご覧ください。  
<https://it-counselor.net/zoom-trouble-pc> (Zoom のトラブルシューティングの流れ)

### 14 表彰

九州社会福祉協議会連合会会長表彰について、別に定められた顕彰規程により、開会式典で行います。

### 15 緊急時 (災害発生時) 等の対応

緊急時 (災害発生時) 等により開催を中止すると判断した場合は、9月7日 (火) の午後3時までに佐賀県社会福祉協議会ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

【佐賀県社協ホームページURL】 <http://www.sagaken-shakyo.or.jp/>

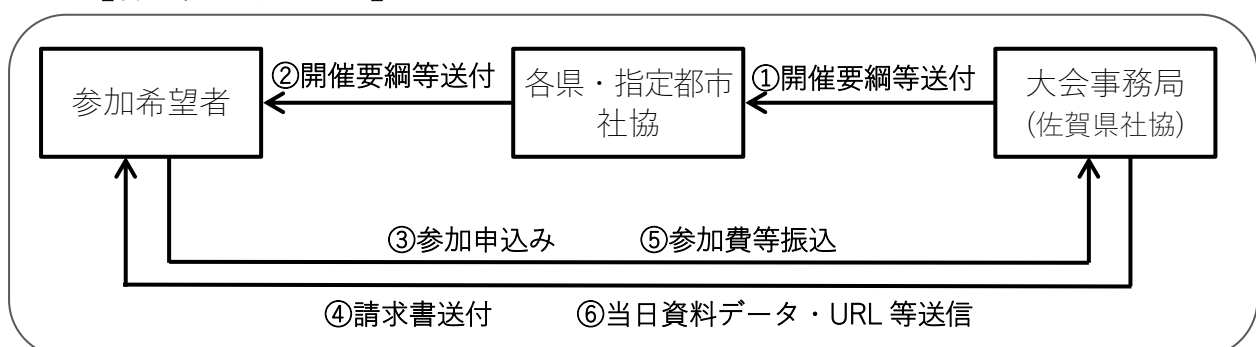
### 16 個人情報の取扱い

- (1) 本研究会議への申込みで取得した個人情報は、運営に関する業務以外の目的には使用しません。県名・所属名・役職名・参加者名を記載した参加者名簿を作成し、資料に掲載いたします。(資料はデータで参加者に送信します)
- (2) 九州社会福祉協議会連合会会長表彰に関して、表彰決定になった場合のみ所属県名・所属名・表彰者名・役職名を資料に掲載します。  
なお、令和元年度、令和2年度の被表彰者についても、本研究会議の被表彰者名簿に掲載いたします。

### 17 お問い合わせ先

【大会事務局】(福)佐賀県社会福祉協議会 まちづくり課 (担当:小松・牧山・安永)  
〒840-0021 佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号  
TEL: 0952-23-2145 / FAX: 0952-25-2980 / E-mail: [chiiki@sagaken-shakyo.or.jp](mailto:chiiki@sagaken-shakyo.or.jp)

#### 【各手続き等の流れ】



## ◆ 各分科会のご紹介 ◆

<b>第1分科会 「地域共生社会の実現を目指した コミュニティソーシャルワークの実践」</b>	
趣 旨	<p>地域住民が抱える地域生活課題は、複雑化・複合化しており、その解決のためには、住民に身近な圏域で包括的な支援体制を整備していくことが重要であるとされています。</p> <p>本分科会では、地域における「ひきこもり」や「8050 問題」、「生活困窮」、「多様な虐待」等、生活のしづらさを抱えている方の発見から個別課題のアセスメント、課題解決プログラムの開発や個別のソーシャルサポートネットワークの構築等、地域共生社会の実現に向けて、社協に求められるコミュニティソーシャルワークの展開について研究・協議します。</p>
座 長	福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 部長 茶木 義人 氏
助 言 者	福岡県立大学 人間社会学部 教授 村山 浩一郎 氏
発 表 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●熊本県・菊陽町社会福祉協議会 地域相談係長 明利 治樹 氏</li> <li>●鹿児島県・始良市社会福祉協議会 地域在宅福祉課 地域福祉係長 丸野 光俊 氏</li> <li>●北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課 主事 村田 健吾 氏</li> </ul>
<b>第2分科会 「地域における社会福祉法人連携の中核としての 社協活動の実践」</b>	
趣 旨	<p>国においては、社会福祉法人が福祉分野での専門性を生かし、地域住民が抱える様々な地域生活課題への対応に積極的に取り組むことができるよう、社会福祉法人を中核とする「社会福祉連携法人」の制度創設に向けて法整備等が進められます。</p> <p>本分科会では、社会福祉法人が地域における公益的な取組を今後より一層進めていく中であって、自らも社会福祉法人である社協がそれぞれの地域で果たすべき役割や取組み等について研究・協議します。</p>
座 長	長崎県社会福祉協議会 事務局次長兼地域福祉部長 甲能 邦浩 氏
助 言 者	久留米大学 文学部 社会福祉学科 講師 島崎 剛 氏
発 表 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡県・福智町社会福祉協議会 事務局長 中野 雅浩 氏</li> <li>●大分県・由布市社会福祉協議会 地域福祉課長 森山 英司 氏</li> <li>●沖縄県・那覇市社会福祉協議会 福祉活動専門員 山城 章 氏</li> </ul>

### 第3分科会 「“学校”・“地域”・“家庭”がつながる福祉教育の実践」

趣 旨	<p>地域共生社会の実現のためには、住民の生活の場である地域社会に「排除しない」「共に生きる」という意識が共有されることが大切です。</p> <p>福祉教育は、地域の状況やさまざまな課題について学び・考える機会となり、そのことが地域の福祉力を高めることにもつながります。</p> <p>しかしながら、社協における福祉教育事業の位置づけについては、必ずしも十分なものとは言えない現状もみられます。</p> <p>本分科会では、福祉教育が地域共生社会づくりに必要な地域住民の「福祉意識の醸成」であるという視点も踏まえ、その取組みの更なる活性化について、研究・協議します。</p>
座 長	宮崎県社会福祉協議会 地域・ボランティア課 課長 大山 晃代 氏
助 言 者	筑紫女学園大学 人間科学部 人間科学科 心理・社会福祉専攻 教授 山崎 安則 氏
発 表 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡県・筑後市社会福祉協議会 地域福祉係長 卜部 善行 氏</li> <li>●熊本市社会福祉協議会 西区事務所 主査 大淵 健一朗 氏</li> <li>●佐賀県・有田町社会福祉協議会 地域・在宅福祉部門 主任 山崎 浩久 氏</li> </ul>

### 第4分科会 「社協が担う権利擁護支援の実践」

趣 旨	<p>認知症、知的障害その他精神上の障害があることにより財産の管理や日常生活等に支障がある方たちを社会全体で支え合うことは、喫緊の課題であり、かつ、地域共生社会の実現に資することとされています。</p> <p>社協における権利擁護支援の中心的な事業である福祉サービス利用援助事業は利用者数が増加していますが、一方で、成年後見制度については、申立手続きの煩雑さ等もあって十分な利用に繋がっていない現状もあります。</p> <p>成年後見制度は、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていく権利を擁護するための仕組みとして大変重要な手段ではありますが、専門職の受任件数は飽和状態であり、担い手不足も課題となっています。担い手不足を解消するための市民後見人の活用については、何年も前から期待され、進められてはきたものの、いまだ充実した仕組みとはなっていない状況です。</p> <p>本分科会では、このような状況を踏まえ、社協が担うべき権利擁護支援の取組みについて研究・協議します。</p>
座 長	〔沖縄県〕沖縄県社会福祉協議会 地域福祉部長 久根次 薫 氏
助 言 者	北九州市成年後見支援センター 所長・弁護士 小鉢 由美 氏
発 表 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長崎県・島原市社会福祉協議会 書記 福田 耕平 氏</li> <li>●宮崎県・高鍋町社会福祉協議会 事務局長 小泉 達成 氏</li> <li>〃こゆ成年後見支援センター 主事 合田 明美 氏</li> <li>●福岡市社会福祉協議会 あんしん生活支援センター 所長 小池 紀徹 氏</li> </ul>

※ 座長、助言者、発表者については変更となることがあります。